

研究機関：広島大学

研究課題名	化学放射線療法を受ける高齢食道がん患者に対する在院日数延長の要因と看護介入の検討
研究責任者名	広島大学病院看護部 看護師長 林 裕子
研究期間	(倫理委員会承認後) ~ 2024年 3月 31日
対象者	2018年10月から～2022年5月までに、広島大学病院放射線治療科で放射線治療医による診察を受け入院された65歳以上の食道がん患者さんを対象とします。
意義・目的	化学放射線療法を受ける高齢の患者さんの中には、副作用などの増強やその他の要因により治療が終了しても退院が延長することがあります。外来受診時には身体機能を客観的に評価するツール（高齢者機能評価）を実施し、入院時には、退院後の生活を見据えた入院時評価（日常生活動作、認知機能評価）を行っていますが、化学放射線療法を受ける患者さんの退院延長に関する要因については明らかになっていません。今回、化学放射線療法を受ける高齢食道がん患者さんに対し、在院日数が延長した要因について明らかにし、看護師の関わり方を検討していくためにこの研究を計画しました。
方法	本研究は、診療録（カルテ）情報を調査して行います。 カルテから転記する内容は性別、年齢、疾患名、病期、照射方法、総線量、食事形態、食事摂取量、血清アルブミン値、BMI、化学療法の種類、治療による有害事象（食道炎、放射性皮膚炎、悪心、嘔吐、食欲不振、倦怠感）高齢者機能評価、認知機能評価、バーセルインデックス、内服管理方法、居住状態（自宅で独居/自宅で誰かと一緒に暮らしている/施設に入所している）、入院期間、治療終了から退院までの日数です。 （個人を特定可能な情報は解析に用いません）
共同研究機関	なし
試料・情報の管理責任者	広島大学看護部 看護師長 林 裕子
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりすることなどのご迷惑をおかけすることはありませんのでご安心下さい。 不明な点がございましたら下記のところまでお問合せください
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel : 082-257-5561 広島大学病院 10階東病棟 看護師長 林 裕子 看護師 妹尾 知佐子